

やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）

えいごネットの「やさしく読める英語ニュース」の音声ファイルを聞いて、下の空欄の単語を聞き取る練習をしてみましょう。

Japan supercomputer Fugaku in full operation

The race to find ways to (1) COVID-19 just got a very powerful ally: the Japanese supercomputer Fugaku.

Fugaku has been operating at a (2) capacity since last April to (3) COVID-19 research.

On March 9, it started operating at full capacity in the hope that it will (4) studies on healthcare, disaster (5), energy, and (6).

The supercomputer was developed by the Riken institute and some other companies. It can (7) over 442 quadrillion computations per second.

<ヒント>

- (1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）をどうするため？
- (2) 3段落目にある full capacity と対比して、ここに入る形容詞はなんだろう？
- (3) スーパーコンピュータ「富岳」は新型コロナウイルス感染症の対応のために本格運用の予定を前倒しして使用が開始された。research をどのようにする動詞が入る？
- (4) 「富岳」は様々な分野の研究を促進することが期待されている。
- (5) 直前の disaster との組み合わせで頻出。セットで覚えてしまおう。
- (6) 持続可能な開発目標（SDGs）の頭文字 S で始まる名詞のこと。
- (7) 「富岳」は一秒間に 44.2 京回（京は兆の 1 万倍）の計算ができる。

やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）解答編

<解答>

- (1) treat 動 ～を扱う、治療する。
- (2) lower 形 より低い。活用形は low-lower-lowest。
- (3) aid 動 ～を援助する、支援する。
- (4) facilitate 動 ～を促進する、手助けする、円滑に進める。
- (5) prevention 名 防止、予防。disaster prevention で「防災」。
- (6) sustainability 名 持続可能性、持ちこたえる力。持続可能な開発目標 (SDGs)
=Sustainable Development Goals
- (7) perform 動 ～を実行する、行う。

<ニュース解説（英文の和訳ではありません）>

2021年3月、日本のスーパーコンピュータ「富岳」が本格運用を開始したニュース。理化学研究所が「京」（けい）の後継機として2014年に開発を開始。富士通をはじめとする多くの機械メーカーが開発に参画した。2020年に発生した新型コロナウイルス感染症の究明とワクチンや薬の開発が世界的な課題となり、予定を約1年前倒しして試験運用が行われていた。「富岳」は兵庫県神戸市の理化学研究所計算科学研究センターにあり、世界一の計算能力を生かして、現代社会が抱える様々な課題を解決するための計算や実験、ビッグデータやAIなどの幅広い分野での活用を目指している。